

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '桜川市さくらマラソン大会運営事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the marathon event.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and various indicators (e.g., 活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 28, 29, 30, 31, 32 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 28, 29, 30 years, categorized by 事業費 (国庫支出金, 県支出金, etc.) and 人件費.

Table comparing 29年度事業費実績 (千円) and 30年度事業費予算 (千円) with items like 08 報償費, 11 需用費, 13 委託料.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 30, 31, and 32 years, including a list of main activities and a note about recording content.

事務事業名	桜川市さくらマラソン大会運営事業	事務事業No.	20401000073	所属課	スポーツ振興課
-------	------------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

昭和54年~市民のスポーツ意識の高揚と健康増進、体力向上を図るとともに、市民並びに参加者の交流を図ることを目的とした大会として開始された。
平成24年度より参加料を徴収し、参加者が2,000人を超える大会となった。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・「種目にハーフマラソンを追加してほしい」
- ・「安全管理を徹底してほしい」

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	さくらマラソン大会を通じて、市民のスポーツ意識の高揚と健康増進、体力向上を図るとともに、市民並びに参加者の交流を図るという目的(意図)は、走ることを楽しみながら健康的に明るい豊かな生活を送るという結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民に走る機会を提供することにより、上記の意図、結果を生んでいく契機となっている。市民誰もが健康的に明るい豊かな生活を送るため、運動やスポーツに親しめる環境を作っていかなければならない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	参加者は横ばい状態である。近隣で開催されている大会でも同様である。交通規制強化などの安全確保、参加者車両の効率的な駐車はできている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	大会参加に向け日頃練習している人の意欲を削ぐとともに、運動やスポーツに対して無関心な人の健康増進や体力向上について考えるきっかけ作りが失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	市予算、大会参加費を徴収し行っている事業である。近隣市町村をみても妥当な参加費である。また、大会の準備等も最小限の人数で行っており、大会の協力体制もボランティアによる協力を得ているため、これ以上の事業費の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内小中学生以外は参加費を徴収するようになったので、受益者負担は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・参加費を取るようになってから参加者が増加したが、近年は横ばいである。10キロコースが交通規制となり、安全確保が図られたが、通過車両からは苦情が出ている。また、参加者ニーズにどのように応えていくか、それにより参加者の満足度が上がると考えられる。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	③																							
		コスト削減優先度評価結果	⑨																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>